

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
おおかみとかくれんぼあそび	小	グループ学習 低学年あじさい (国語・算数)	細野恵美子

<ねらい>

- ・パネルシアターを見聞きして、かくれんぼあそびに見通しをもつ。
- ・かくれんぼあそびを通して、みたて・つもり活動を楽しむ。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

①パネルシアター『おおかみと4ひきのこやぎ』

- ・『おおかみと7ひきのこやぎ』の話を基に、かくれんぼあそびの活動内容に合わせた展開にしてパネルシアターを行った。
- ・パネルは絵をラミネートし磁石を貼り、ホワイトボードで提示した。
- ・隠れ場所のパネルには、クリアファイルをつけて隠れるようにした。
- ・こやぎに児童の名前をつけ、どこに隠れるかを、児童とやりとりして決めた。
- ・こやぎが食べられたり、助け出されたりする場面を、おおかみにもクリアファイルをつけることで、隠れたり、出てきたりさせて表現した。

②おおかみとかくれんぼあそび

- ・隠れ場所としては、机の下、ついたて、大きな布、洗濯機の箱を提示した。
- ・こやぎ人形をふわふわした手袋を組み合わせ、ボタンや糸で目や口をつけて製作し、児童に持たせて一緒に隠れるようにした。
- ・児童と一緒に隠れる教師と、おおかみ役の教師に役割分担した。おおかみ役は隠れている児童を見つけると食べるようにくすぐったり、児童が持っているこやぎ人形を着ぐるみのお腹の中に隠したりして、お腹がいっぱいになり寝る振りをする。
- ・おおかみの着ぐるみは、前がボタンで開け閉めできるので、お腹を切るつもりになって開き、こやぎ人形を助け出し、お腹を縫ったつもりで閉じた。その際、大きな紙製のはさみや針を用いた。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

①パネルシアター

- ・こやぎが隠れたり食べられたりする場面は、クリアファイルを用いることで、見えなくなり、児童は注目していた。
- ・こやぎが自分の名前をつけられることで、次のかくれんぼあそびと結びつき、かくれんぼあそびへの見通しがついた。

②おおかみとかくれんぼあそび

- ・おおかみに見つからないように隠れるという設定は、分かりやすく、どの児童も繰り返し楽しむことができた。
- ・隠れ場所としては、洗濯機の箱が児童にとって魅力的に感じたようで、自分から隠れようとする姿が多く見られた。また、大きな布を頭にかぶって自分から周りが見えなくなることで、隠れている気分になっていた。
- ・こやぎ人形はおおかみに食べられて助け出すという設定のため用いたが、助け出す設定を楽しむ児童と、その理解が難しい児童がいた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・パネルシアター（画用紙、ラミネートフィルム、磁石、クリアファイル）
- ・こやぎ人形（手袋、ボタン、糸）
- ・はさみ、針（画用紙、ビニールテープ）

